



ガイオ・テクノロジー株式会社

会社説明

ガイオ・テクノロジー株式会社は、1980年の設立以来、40年以上にわたって日本の組込みシステム開発を根底から支え続けてきた、独立系のソフトウェアツールベンダーおよびテストエンジニアリング企業です。

創業当初はマイクロプロセッサ向けのクロスコンパイラ（開発環境）の自社開発から事業をスタートさせました。その後、組込みソフトウェアの急速な高度化と大規模化に伴い、開発現場の課題が「いかに効率よくコードを記述するか」から「いかにソフトウェアの安全性と品質を担保するか」へとシフトしていく業界の潮流をいち早く捉え、事業の主軸をソフトウェアの検証・テストソリューションへと転換しました。

現在、同社の主力製品として知られる単体テスト・カバレッジ計測ツール「カバレッジマスターwinAMS」は、実際のマイコンの動作をシミュレータ上で忠実に再現し、実コードベースでの極めて精度の高いテストを可能にしています。この独自の技術は、自動車業界における厳格な機能安全規格（ISO 26262）の認証取得に不可欠なツールとして、国内の主要な自動車メーカーおよびティア1サプライヤーからデファクトスタンダードとして高く評価され、幅広く導入されています。

近年では、自動車業界における「CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）」のトレンドに伴い、ソフトウェアの重要性がかつてないほど高まっています。これに対応すべく、ガイオ・テクノロジーはモデルベース開発（MBD）環境におけるシミュレーションテストツールの提供や、自動運転システム（ADAS）の検証ソリューションにも注力しています。仮想環境（SILS/HILS）を活用した検証技術により、手戻りの少ない効率的な開発プロセスの実現を強力に支援しています。

さらに、ソフトウェアツールの提供にとどまらず、長年蓄積した知見を活かしたテストエンジニアリングサービスも展開しています。テスト計画の立案からテスト設計、実行、さらには品質保証プロセスの改善に向けたコンサルティングに至るまで、顧客の開発現場に密着したトータルソリューションを提供できる点が、同社の最大の強みです。

自動車、医療機器、航空宇宙、産業用ロボットなど、ソフトウェアの不具合が人命や社会インフラの停止に直結するミッションクリティカルな分野において、ガイオ・テクノロジーは「品質保証のベストパートナー」として、日本のモノづくり産業の国際競争力向上に多大な貢献を果たし続けています。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

組込みシステム向け開発・テストツール（C/C++クロスコンパイラ、単体・結合テストツールなど）の開発・販売。および、モデルベース開発（MBD）支援、ソフトウェアテストエンジニアリング、プロセス改善コンサルティングサービスの提供。

設立年

1980年3月

資本金

298百万円

従業員数

101 - 500人

URL

<http://www.gaio.co.jp/>

オフィス情報

メインオフィス

〒1400002
東京都品川区東品川2-2-4
天王洲ファーストタワー25階